

D. Johnson
#2 6-13-99
Priority Papers
Docket No. 21,1908/TEM

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of

Toshinao KOMURO

Serial No. Unassigned

Group Art Unit: Unassigned

Filed: March 23, 1999

Examiner: Unassigned

For: **VIEWER SYSTEM AND METHOD ALLOCATING A DEGREE OF
IMPORTANCE TO A NETWORK ADDRESS BASED UPON FREQUENCY OF
DISPLAY**

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

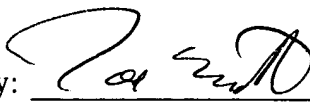
In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant submits herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 10-269277, filed September 24, 1998

It is respectfully requested that the applicant be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY

700 Eleventh Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

By: 
Todd E. Marlette
Registration No. 35,269

Date: 3/23/99

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC518 U.S. PTO
09/274250
03/23/99

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1998年 9月24日

出 願 番 号
Application Number:

平成10年特許願第269277号

出 願 人
Applicant(s):

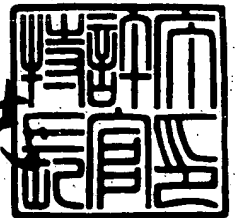
富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1998年12月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

山 建 志



出証番号 出証特平10-3101538

【書類名】 特許願

【整理番号】 9803520

【提出日】 平成10年 9月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 9/00 320
G06F 15/18 550

【発明の名称】 表示装置

【請求項の数】 15

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 小室 敏直

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100072590

【弁理士】

【氏名又は名称】 井桁 貞一

【電話番号】 044-754-3035

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011280

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704486

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 表示装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を持つ画面を表示するブラウザであって、
識別情報毎に画面の表示回数を記憶する定義管理簿と、
同じ識別情報の画面の表示回数を計数する重要度制御部とを設け、
この重要制御部は既に表示した識別情報を持つ表示画面毎の表示回数を上記定義
管理簿に集計することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

上記定義管理簿に更にしきい値を記憶させると共に、上記重要度制御部は同一
表示画面の表示回数がこのしきい値を超えたことを検出すると、特定の処理を実
行することを特徴とする請求項 1 記載の表示装置。

【請求項 3】

上記定義管理簿のしきい値は計数対象となる表示画面の識別情報毎に設けるこ
とを特徴とする請求項 1 ないし請求項 2 の表示装置。

【請求項 4】

上記ブラウザはインターネットの Web ページを表示し、
上記重要度制御部は表示回数が Web ページの URL を画面の識別情報とし、
上記重要度制御部に自動登録制御部を設け、
上記重要度制御部が検出したしきい値を超えた Web ページを、上記自動登録制
御部がブックマークに登録することを特徴とする請求項第 1 項ないし 3 項記載の
表示装置。

【請求項 5】

上記自動登録制御部はブックマーク内の Web ページの登録順番を表示回数に
従って並び変えるソート機能を備えたことを特徴とする請求項第 4 項記載の表示
装置。

【請求項 6】

上記ブラウザはブックマーク内の URL から Web ページを自動的に作成する

自動ページ作成部を備えたことを特徴とする請求項第4項ないし第5項記載の表示装置。

【請求項7】

上記ブラウザはインターネットのWebページを表示し、
上記定義管理簿には上記各しきい値をURL別の重要度とする値と、
各URLに対応する処理を重要度マークとして記憶させ、
上記重要度制御部は表示回数が重要度の値を超えると重要度マークとして指示された処理を実行することを特徴とする請求項第3項記載の表示装置。

【請求項8】

上記定義管理簿には1つのWebページに複数の重要度とその各々の重要度に重要度マークを定義できると共に、
上記重要度制御部は表示回数によって異なる重要度マークの処理を選択可能とすることを特徴とする請求項第7項記載の表示装置。

【請求項9】

上記重要度マークは、Webページの表示回数を色の濃淡のマークで表示したり、文字やイメージをWebページ内に表示する、等を利用者に通知するプログラムオブジェクトであることを特徴とする請求項第7項ないし第8項記載の表示装置。

【請求項10】

上記重要度制御部はWebページをブラウザで表示する前に、対応するWebページの表示回数を更新し、定義管理簿の更新した回数に基づいて上記重要度マークで指定した処理を実行することを特徴とする請求項第7項ないし第9項記載の表示装置。

【請求項11】

上記重要度制御部は上記ブラウザで表示中のWebページの定義管理簿の情報を追加、変更および削除できることを特徴とする請求項第7項ないし第10項記載の表示装置。

【請求項12】

識別情報を持つ画面を表示するブラウザであって、同じ識別情報の画面の表示

回数を計数し、この計数値がしきい値を超えると、特定の処理を実行することを特徴とする表示方法。

【請求項 13】

上記ブラウザはインターネットのWebページを表示し、このWebページのURLを画面の識別情報とし、表示回数がしきい値を超えたWebページをブックマークに登録することを特徴とする請求項第12項記載の表示方法。

【請求項 14】

上記ブラウザはインターネットのWebページを表示し、上記特定の処理はWebページの内に表示等で利用者に通知するプログラムオブジェクトであることを特徴とする請求項第12ないし請求項13記載の表示方法。

【請求項 15】

識別情報を持つ画面を表示するブラウザであって、同じ識別情報を持つ画面の表示回数を記憶する記憶部を有し、同じ識別情報の画面の表示回数を計数し、この計数値がしきい値を超えると特定の処理を実行する、

以上の機能を備えたプログラムを格納した媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は画面の表示において、同じ識別情報の画面の表示回数を計数し、その値がしきい値を超えると特定の表示や処理が実行される技術に関する。

【0002】

【従来の技術】

図14に従来のWWWブラウザの一例を示す。WWWサーバ10でWWWデータ23から作成したWebページを、ネットワーク11を経由して端末12にダウンロードする。ダウンロードしたWebページはWWWブラウザ機能部13によって表示される。また、フィルター登録部21とフィルター機能部22は、利用者毎に必要な情報を登録することにより、WWWサーバ10でWWWデータ23を利用者毎に登録された情報で情報量を絞り込むものである。WWWブラウザ機能部13は、WebページのURLは、表示回数に関係なく利用するとURL

の色を一定期間変えて視覚に訴えるだけの機能しか持っていない。利用者は利用頻度の高いWebページをWWWブラウザのブックマーク19に登録して利用する。ブックマーク19に登録中のURLは実際のアドレスを指定することなく単に選択するだけでURLの表示が可能である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

従来の方法では、利用頻度の高いWebページはWWWブラウザのブックマークに登録して利用しているが、登録したWebページの表示回数を把握することは出来ず、ブックマークに陳腐化したURLが蓄積される。また、原本のWebページで表示されていたURLを1つのWebページとして登録するため、ブックマークの情報量が増えてしまう。さらに、Webページ上のURLは表示回数に関係なく利用すると、URLの色が一定期間変わったりするが、自分にとって良く利用する情報をWebページ上で管理することができず、独自に管理が必要で利用者にとっては不便である。本発明では、このような点に鑑みてなされたものであり、WWWブラウザで表示回数によって重要度を設定できるようにし、Webページ中のURLに重要度マークを表示する。また、重要度に達したものはブックマークに自動的に分類して登録するとともにブックマークの情報からWebページを自動作成することにより利用者の情報管理を容易にするとともに利便性を向上させることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

インターネットのURLを表示するブラウザに対しURL毎にその表示回数やしきい値や重要度処理を登録する機能を設け、URLを表示する毎に登録された重要度処理の要否を検査して重要度処理の実行を行ったり、しきい値の確認をしてブックマークへの登録やブックマークへの登録に際しては、指定されたグループ中にそのURLを登録したり、URLの表示回数に従ってブックマーク中の順番を変更したりする。

【0005】

【発明の実施の形態】

本発明の概略について図面を参照して説明する。

図 1 は上記目的を達成する本発明の原理図である。WWWサーバ 10 は、WWWデータ 23、フィルター登録部 21、フィルター機能部 22 から構成され、端末 12 は、WWWブラウザ機能部 13、表示制御部 14、重要度制御部 15、定義制御部 16、自動登録制御部 17、定義管理簿 18、ブックマーク 19、自動ページ作成部 24 から構成される。WWWサーバ 10 と端末 12 はネットワーク 11（インターネット等）で接続される。上記構成によれば、WWWサーバ 10 でWWWデータ 23 から作成したWebページは、端末 12 のWWWブラウザ機能部 13 がネットワーク 11 を経由してダウンロードする。ダウンロードしたWebページは重要度制御部 15 に渡され、定義管理簿 18 に当該Webページ中のURLが登録されているかチェックされ、未登録または表示回数が重要度に達していなければ、WWWブラウザ機能部 13 は、ダウンロードしたWebページをそのまま表示する。もし、表示回数が重要度に達していれば、当該Webページ中の当該URLに重要度マークを付加したWebページに更新する。このとき、ブックマークへの登録定義がある場合は、重要度制御部 15 が自動登録制御部 17 を呼び出し、当該URLをブックマーク 19 に自動登録する。また、自動登録制御部 17 が自動ページ作成部 24 を呼び出し、ブックマーク 19 のURL情報からWebページを自動作成する。WWWブラウザ機能部 13 は、更新された定義管理簿に従って各ページを表示する。また、WWWブラウザ機能部 13 のアイコンを選択することにより、登録／削除制御部 16 が呼ばれ、表示制御部 14 を経由してWWWブラウザに登録または削除画面が表示される。登録画面（後述）を利用することにより、複数の表示回数と重要度と重要度マーク、およびブックマーク登録指示を入力して定義管理簿に登録することができる。一方、削除画面を利用することにより、定義管理簿に登録されている定義情報および表示回数を削除することができる。20 は、本件に関するプログラムを格納した媒体である。20 は端末 12 で動作するプログラムを格納したCD-ROMであり、本願の端末 12 のプログラムはCD-ROMより端末中に読み込まれて実行可能となる。

【0006】

図2は、本発明の定義管理簿の構成を示す図である。定義管理簿18は、URL名、重要度、しきい値、重要度マーク、表示回数、自動登録情報から構成される。URL名には、登録したWebページのURLが管理される。1つのURL名に対し複数の重要度のレベルを設定できる。しきい値には、重要度の表示を行うための表示回数を設定し、当該しきい値に達したときに対応する重要度を表示する。重要度マークは重要度に対応しており、型とマークから構成される。型には、マークの型が設定される。例えば、文字、図（イメージ）、音声、色などを設定する。マークには、重要度の表示に使用するものであり、型に対応したマークが設定される。ただし、図（イメージ）、音声などはデータ量が多いため、図（イメージ）、音声のファイル名が設定される。表示回数は、当該URLの表示回数が設定される欄であり当該URLを利用した時点でカウントアップされ、しきい値と比較するのに利用される。自動登録情報は登録とカテゴリ名から構成される。登録には、当該重要度に達したときに当該URLをブックマークに自動登録するか否かが設定され、カテゴリ名には自動登録するときのブックマークのカテゴリ名が設定される。カテゴリ名は、登録が”あり”の場合に有効である。例えば、登録ありの場合、当該重要度に達するとブックマークの指定されたカテゴリ配下に当該URLを自動登録することになる。

図3は、WWWブラウザの画面構成の例を示す図である。WWWブラウザの画面130は、ツールバー131、アドレス132、表示域133から構成される。ツールバー131には、従来のツールバーに定義管理簿18へ重要度を登録するための登録アイコン134、定義管理簿18の情報を削除するための削除アイコン135、定義管理簿18の情報を変更するための変更アイコン136が追加される。アドレス132には、URLの情報が表示される。表示域133には、ページが表示される他に登録するための入力情報や削除するための定義管理簿18の情報が表示される。

図4は、重要度登録画面の例を示す図である。登録画面の表示域133には、登録対象となるURL情報（アドレス132と同じ情報）と各々の重要度としきい値、表示する重要度マーク、自動登録の可否、自動登録するときのブックマークのカテゴリ名を設定できるメニューを表示する。利用者は、”登録”の前にある

”○”を選択して確定ボタン138をクリックすることにより登録することができる。登録する内容についても、各情報の前にある”○”を選択することにより登録情報を有効にすることができる。

なお、重要度マークには、表示する文字を直接指定しても、表示する情報を格納したファイルのパス名を指定してもよい。また、スクロールバー137を操作することにより、1画面に納まらない数の重要度も設定することができる。

【0007】

図5は、登録画面のうち定義管理簿の削除画面の例を示す図である。削除画面の表示域133には、定義管理簿18に登録されている全URLの情報が一覧表示される。登録情報量が多い場合には、スクロールバー137を操作する。利用者は、”定義削除”の前にある”○”を選択して確定ボタン138をクリックすることにより当該定義情報を削除することができる。また、”表示回数削除”の前にある”○”を選択することにより表示回数のみを削除することができる。

図6は、定義管理簿の変更画面の例を示す図である。変更画面の表示域133には、定義管理簿18の全URLの登録情報が一覧表示される。登録情報量が多い場合には、スクロールバー137を操作する。利用者は、”変更”の前にある”○”を選択して確定ボタン138をクリックすることにより当該定義情報を変更することができる。変更できる情報は、登録画面で登録した情報（画面で下線で表している）である。ただし、自動登録については、”あり”、”なし”の前にある”○”を選択することにより変更できる。なお、ここでカテゴリ名を変更すると、ブックマークの旧カテゴリ名で登録されていた、当該URLが新カテゴリ名へ自動的に移行される。

【0008】

図7は、WWWブラウザへのWebページの表示例を示す図である。アドレス132にWebページのURL（http://aaa.co.jp/）が表示され、表示域133にWebページの内容が表示される。表示域133の下線の引いてある”What’s New”、“お問い合わせ”、“製品Vシリーズ”が別のWebページのURLまたはファイルデータのURLを表わしている。図は、Webページ中に図が表示されていることを表わしている。

【0009】

図8は、Webページへの重要度の表示例を示す図である。表示域133には、図7と同じWebページが表示されるものとし、下線の引いてある“製品Vシリーズ”のURLが定義管理簿18に登録されており、表示回数が定義管理簿18の重要度のしきい値に達したとする。このとき、重要度マークとして登録してある“重”が、“製品Vシリーズ”に付加されて表示される。

【0010】

図9は、ブックマークからWebページの自動作成例を示す図である。WWWブラウザによってブックマークへの格納形式は異なるが、ブックマークに格納される情報は、カテゴリ名、Webページ上の名前とURLが一般的である。自動ページ作成部24は、ブックマーク19の情報からWebページ25を作成する。下線は、Webページ上の名前がURLであることを示す。例えば、Webページ25の“製品Vシリーズ”をクリックすると、“<http://bbb.co.jp/b.html>”のWebページを表示する。また、ここでWebページ25には表示回数の多いWebページ順に表示される。これは、自動登録制御部によりブックマークのURLが表示回数の多い順にソートされるためである。

【0011】

図10は、表示処理を示すフローチャートである。なお、このフローチャートの説明において、Sに続く番号はステップ番号を示す。

〔S101〕WWWブラウザは起動されると、利用者からの操作指示を待ち合わせる。

〔S102〕WWWブラウザから終了要求であれば、WWWブラウザの処理を終了する。それ以外はステップS103へ進む。

〔S103〕WWWブラウザで指定されたURLに対応するページをサーバからダウンロードする。ただし、WWWブラウザが動作する端末に最新のページが存在する場合には、サーバからダウンロードする必要はない。

〔S104〕ページ中に記述されたURLについて、全ての処理が終了したらステップS114へ進み、それ以外はステップS105へ進む。

〔S105〕ページ中に記述されたURLを順次抽出する。

〔S106〕抽出したURLが定義管理簿に登録されていればステップS107へ進み、それ以外はステップS104へ進む。

〔S107〕定義管理簿の当該URLの表示回数を更新（カウントアップ）する。

〔S108〕当該URLの表示回数が、定義管理簿の重要度に対応するしきい値に達していれば、ステップS109へ進み、それ以外はステップS104へ進む。

〔S109〕ページ中の当該URLに、文字、イメージ、音声、または色の強弱により重要度マークを設定（Webページの更新）する。

〔S110〕定義管理簿の当該URLに、WWWブラウザのブックマークへ自動登録指定がされていればステップS111へ進み、それ以外はステップS104へ進む。

〔S111〕当該URLを登録するカテゴリがWWWブラウザのブックマークに既にあればステップS113へ進み、それ以外はステップS112へ進む。

〔S112〕当該URLを登録するカテゴリ（フォルダーまたはディレクトリ）をWWWブラウザのブックマークへ新規に作成する。

〔S113〕当該URLをWWWブラウザのブックマークのカテゴリへ追加登録し、追加登録したカテゴリのURLを表示回数の多い順にソートしステップS104に進む。

〔S114〕ブックマークのURL情報でWebページを作成（すでに作成済の場合は更新）する。

〔S115〕Webページ（ダウンロードしたWebページまたは重要度表示をしたWebページ）をWWWブラウザへ表示しステップS101へ進む。

〔0012〕

図11は、登録処理を示すフローチャートである。なお、このフローチャートの説明において、Sに続く番号はステップ番号を示す。

〔S201〕WWWブラウザのツールバーの登録アイコンがクリックされることにより、現在表示中のURLの登録画面が表示される。

〔S202〕利用者からの登録情報の入力を待ち合わせる。

〔S203〕WWWブラウザから終了要求であれば、WWWブラウザの処理を終了する。それ以外はステップS204へ進む。

〔S204〕スクロール要求であれば、ステップS205へ進む。それ以外は登録情報が入力されたため、ステップS206へ進む。

〔S205〕登録画面の情報をスクロールしステップS202へ進む。

〔S206〕指定された重要度が正しければ（例えば、許容範囲の数字である）、ステップS207へ進む。それ以外はステップS211へ進む。

〔S207〕指定されたしきい値が正しければ（例えば、許容範囲の数字である）、ステップS208へ進む。それ以外はステップS211へ進む。

〔S208〕指定された登録マークが正しければ（例えば、文字であるとか、指定されたファイルが実在する）、ステップS209へ進む。それ以外はステップS211へ進む。

〔S209〕指定されたカテゴリ名が正しければ（例えば、許容範囲の英数字である）、ステップS210へ進む。それ以外はステップS211へ進む。

〔S210〕登録画面から入力された、重要度、しきい値、登録マーク、ブックマークへ自動登録の可否、カテゴリ名とURL名を定義管理簿へ登録し、ステップS201へ進む。

〔S211〕再入力を督促するようなエラーメッセージを登録画面に出力し、ステップS202へ進む。

【0013】

図12は、削除処理を示すフローチャートである。なお、このフローチャートの説明において、Sに続く番号はステップ番号を示す。

〔S301〕WWWブラウザのツールバーの削除アイコンがクリックされると、削除画面に定義管理簿に登録されているURLの一覧が表示される。

〔S302〕利用者からの登録情報の入力を待ち合わせる。

〔S303〕WWWブラウザから終了要求であれば、WWWブラウザの処理を終了する。それ以外はステップS304へ進む。

〔S304〕スクロール要求であれば、ステップS305へ進む。それ以外は削除情報が入力されたため、ステップS306へ進む。

〔S305〕登録画面の情報をスクロールしステップS302へ進む。

〔S306〕定義削除要求であれば、ステップS307へ進む。それ以外はステップS308へ進む。

〔S307〕定義管理簿から選択されたURL情報を全て削除したのちステップS310へ進む。

〔S308〕表示回数削除要求であれば、ステップS309へ進む。それ以外はステップS310へ進む。

〔S309〕定義管理簿から選択されたURLの表示回数のみをクリアしたのちステップS310へ進む。

〔S310〕指定された全URLについて、処理が終了したらステップS301へ進む。それ以外はステップS306へ進む。

【0014】

図13は、変更処理を示すフローチャートである。なお、このフローチャートの説明において、Sに続く番号はステップ番号を示す。

〔S401〕WWWブラウザのツールバーの変更アイコンがクリックされると、変更画面に定義管理簿に登録されているURLの一覧が表示される。

〔S402〕利用者からの変更情報の入力を待ち合わせる。

〔S403〕WWWブラウザから終了要求であれば、WWWブラウザの処理を終了する。それ以外はステップS404へ進む。

〔S404〕スクロール要求であれば、ステップS405へ進む。それ以外は変更情報が入力されたため、ステップS406へ進む。

〔S405〕変更画面の情報をスクロールしステップS402へ進む。

〔S406〕URLの変更が選択されていれば、ステップS408へ進む。それ以外は、ステップS407へ進む。

〔S407〕指定された全URLについて、処理が終了したらステップS401へ進む。それ以外はステップS406へ進む。

〔S408〕重要度の変更（以前の内容と異なっていれば）であれば、ステップS409へ進む。それ以外はステップS410へ進む。

〔S409〕指定された重要度が正しければ（例えば、許容範囲の数字である）

、ステップS410へ進む。それ以外はステップS418へ進む。

〔S410〕しきい値の変更（以前の内容と異なっていれば）であれば、ステップS411へ進む。それ以外はステップS412へ進む。

〔S411〕指定されたしきい値が正しければ（例えば、許容範囲の数字である）、ステップS412へ進む。それ以外はステップS418へ進む。

〔S412〕登録マークの変更（以前の内容と異なっていれば）であれば、ステップS413へ進む。それ以外はステップS414へ進む。

〔S413〕指定された登録マークが正しければ（例えば、文字であるとか、指定されたファイルが実在する）、ステップS414へ進む。それ以外はステップS418へ進む。

〔S414〕カテゴリ名の変更（以前の内容と異なっていれば）であれば、ステップS415へ進む。それ以外はステップS417へ進む。

〔S415〕指定されたカテゴリ名が正しければ（例えば、許容範囲の英数字である）、ステップS416へ進む。それ以外はステップS418へ進む。

〔S416〕ブックマークの旧カテゴリ名にある当該URLを新カテゴリ名へ移行する。

〔S417〕当該URL名の定義管理簿の情報を、変更画面から入力された、重要度、しきい値、登録マーク、ブックマークへ自動登録の可否、カテゴリ名で変更し、ステップS401へ進む。

〔S418〕再入力を督促するようなエラーメッセージを登録画面に出力し、ステップS402へ進む。

【0015】

【発明の効果】

以上説明したように本発明では、同じホームページであっても利用者毎に表示回数に合わせて重要度を設定して表示することができる。また、表示回数の高いページは自動的にWWWブラウザのブックマークに登録されるとともにブックマーク情報でWebページが自動作成されるため、利用者が情報管理と運用を容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の重要度表示を設定できるWWWブラウザの原理構成図である。

【図 2】

本発明の管理簿の構成を示す図である。

【図 3】

WWWブラウザの画面構成の例を示す図である。

【図 4】

重要度登録画面の例を示す図である。

【図 5】

定義管理簿の削除画面の例を示す図である。

【図 6】

定義管理簿の変更画面の例を示す図である。

【図 7】

WWWブラウザへのWebページの表示例を示す図である。

【図 8】

Webページへの重要度の表示例を示す図である。

【図 9】

ブックマークからWebページの自動作成例を示す図である。

【図 10】

表示処理を示すフローチャートである。

【図 11】

登録処理を示すフローチャートである。

【図 12】

削除処理を示すフローチャートである。

【図 13】

変更処理を示すフローチャートである。

【図 14】

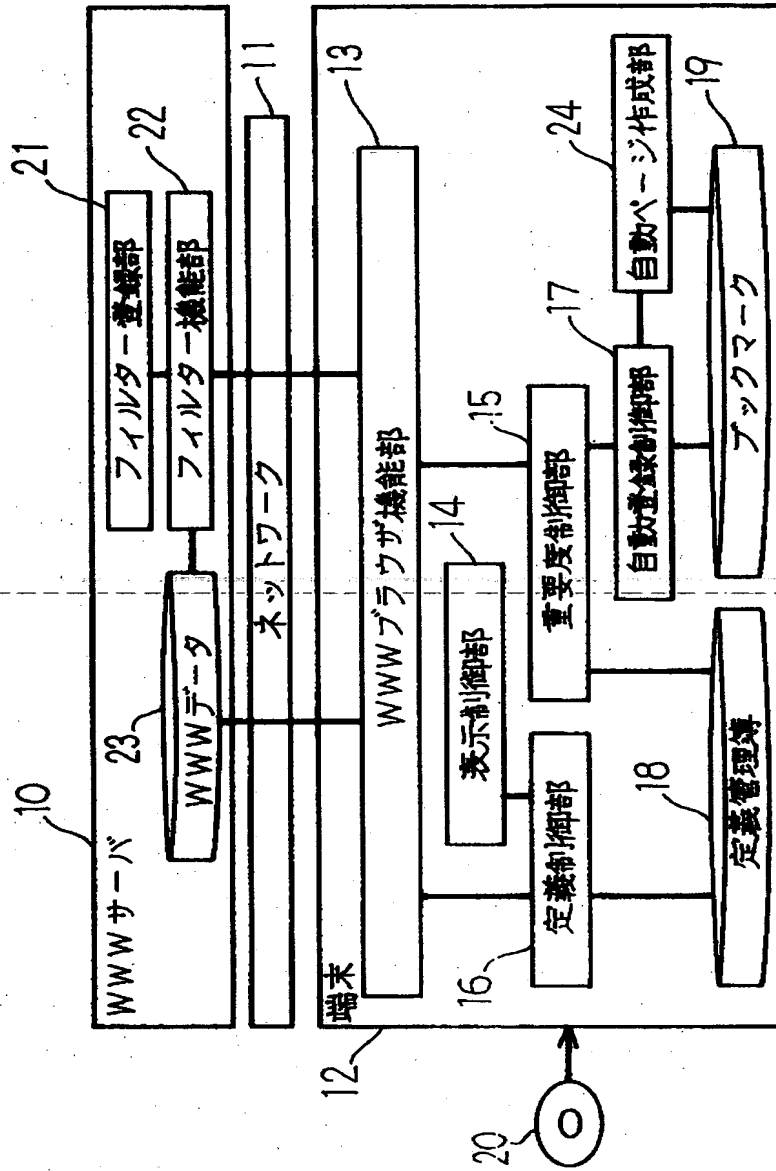
従来のWWWブラウザの一例を示す図である。

【符号の説明】

- 10 WWWサーバ
 - 11 ネットワーク
 - 12 端末
 - 13 WWWブラウザ機能部
 - 14 表示制御部
 - 15 重要度制御部
 - 16 定義制御部
 - 17 自動登録制御部
 - 18 定義管理簿
 - 19 ブックマーク
 - 20 プログラム格納媒体
 - 21 フィルター登録部
 - 22 フィルター機能部
 - 23 WWWデータ
-
- 24 自動ページ作成部
 - 25 Webページ
 - 130 WWWブラウザの画面
 - 131 ツールバー
 - 132 アドレス
 - 133 表示域
 - 134 登録アイコン
 - 135 削除アイコン
 - 136 変更アイコン
 - 137 スクロールバー
 - 138 確定ボタン

【書類名】 図面

【図 1】



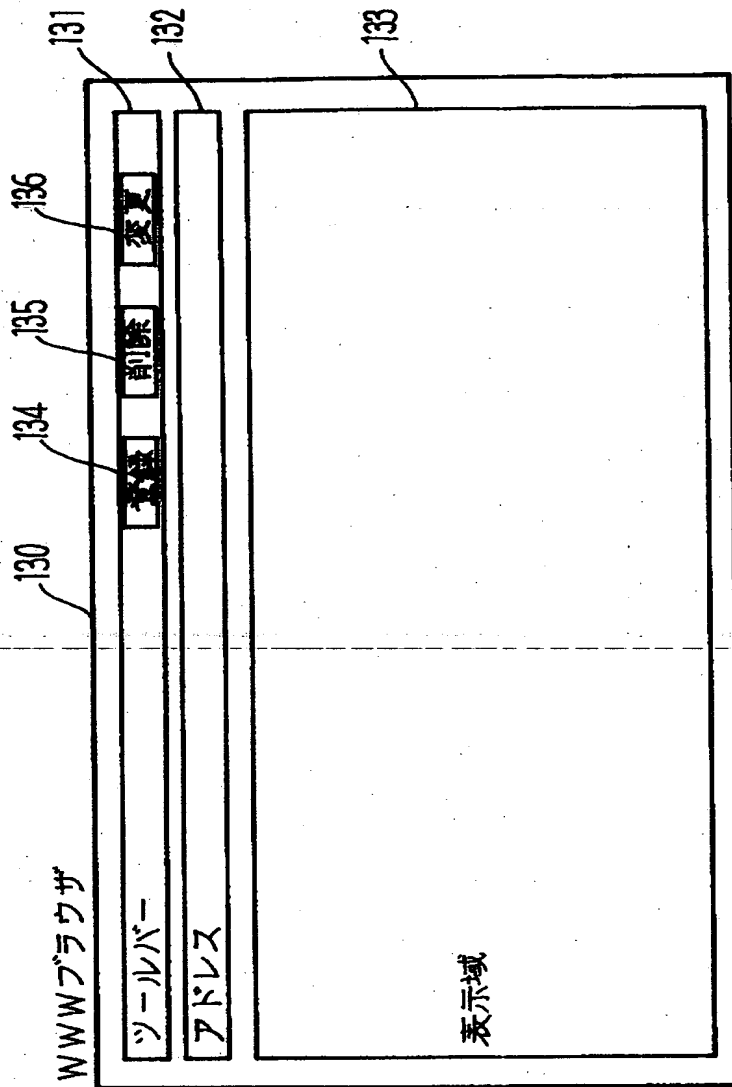
【図2】

18

定務管理簿

URL名	重要度	しきい値	重要度マーク		利用回数	自動登録情報	
			型	マーク		登録	カテゴリ名
http://aaa.co.jp/	20	20	文字	重	10	あり	調査
	10	10	文字	中	10	なし	
http://b.b.co.jp/	3	10	図	level3.GIF	1	あり	趣味
	1	5	図	level1.GIF	1	なし	
:	:	:	:	:	:	:	:
	:	:	:	:	:	:	:

【図 3】



【図 4】

WWWブラウザ

130

131

132

133

登録

http://aaa.co.jp/

登録メニュー

○登録 URL: http://aaa.co.jp/

○有効 重要度: — しきい値: — 回 重要度マーク: —

○自動登録 登録カテゴリ名: —

○有効 重要度: — しきい値: — 回 重要度マーク: —

○自動登録 登録カテゴリ名: —

○有効 重要度: — しきい値: — 回 重要度マーク: —

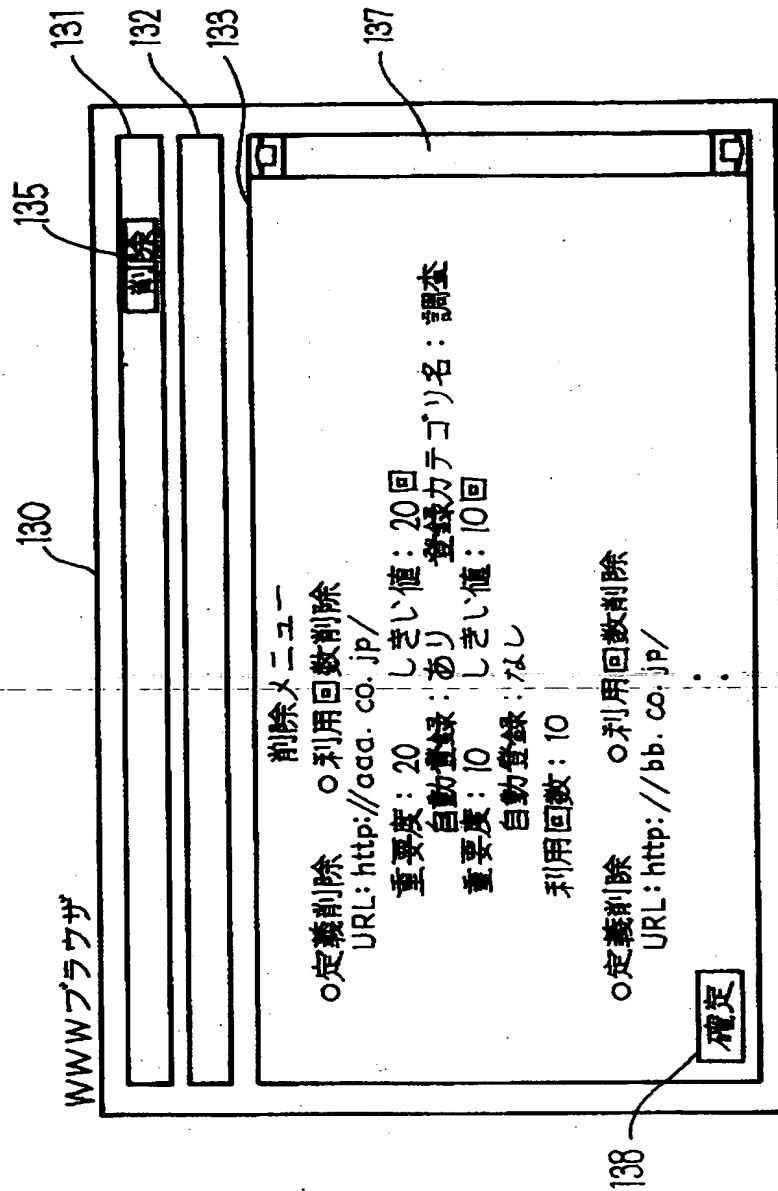
○自動登録 登録カテゴリ名: —

138

確定

137

【図 5】



【図 6】

WWWブラウザ

130

131

132

133

136

変更

137

変更メニュー

○変更

URL: http://aaa.co.jp/

重要度: 20 しきい値: 20回

重要度マーク: ●あり ○なし

自動登録: ●あり ○なし

登録カテゴリ名: 調査

重要度: 10 しきい値: 10回

重要度マーク: ●あり ○なし

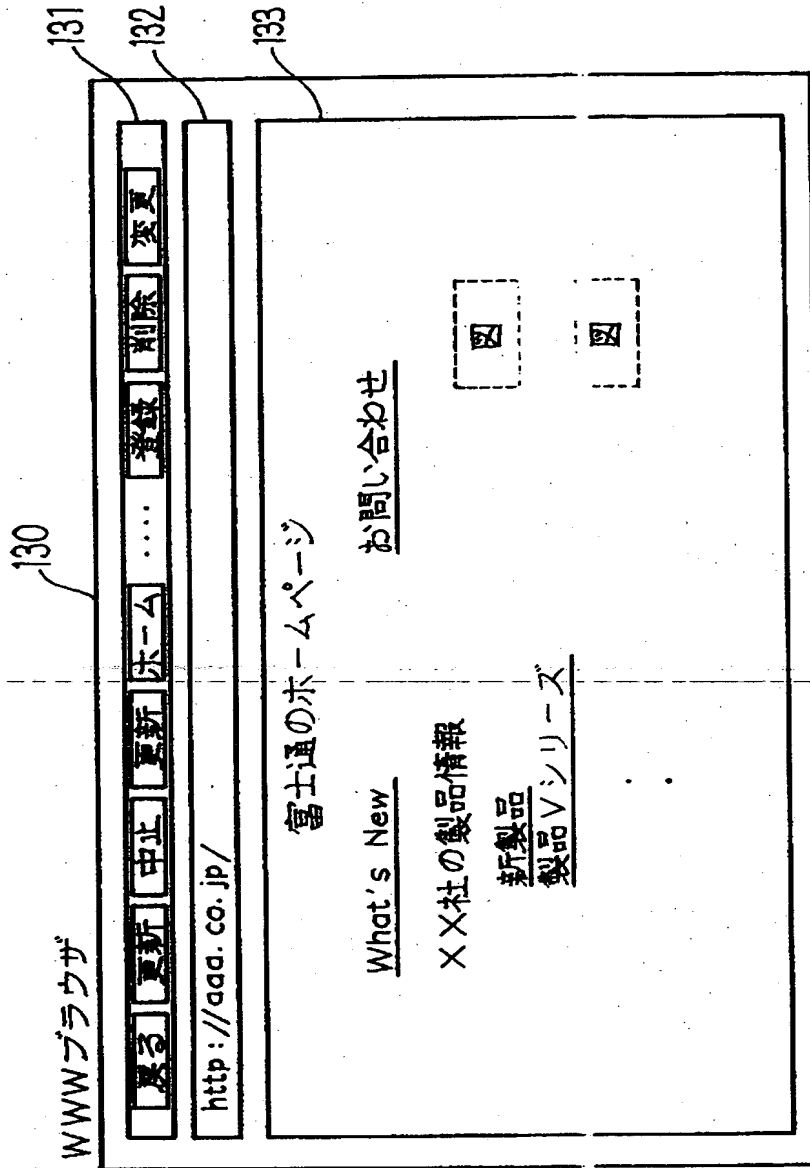
自動登録: ●あり ○なし

登録カテゴリ名: .

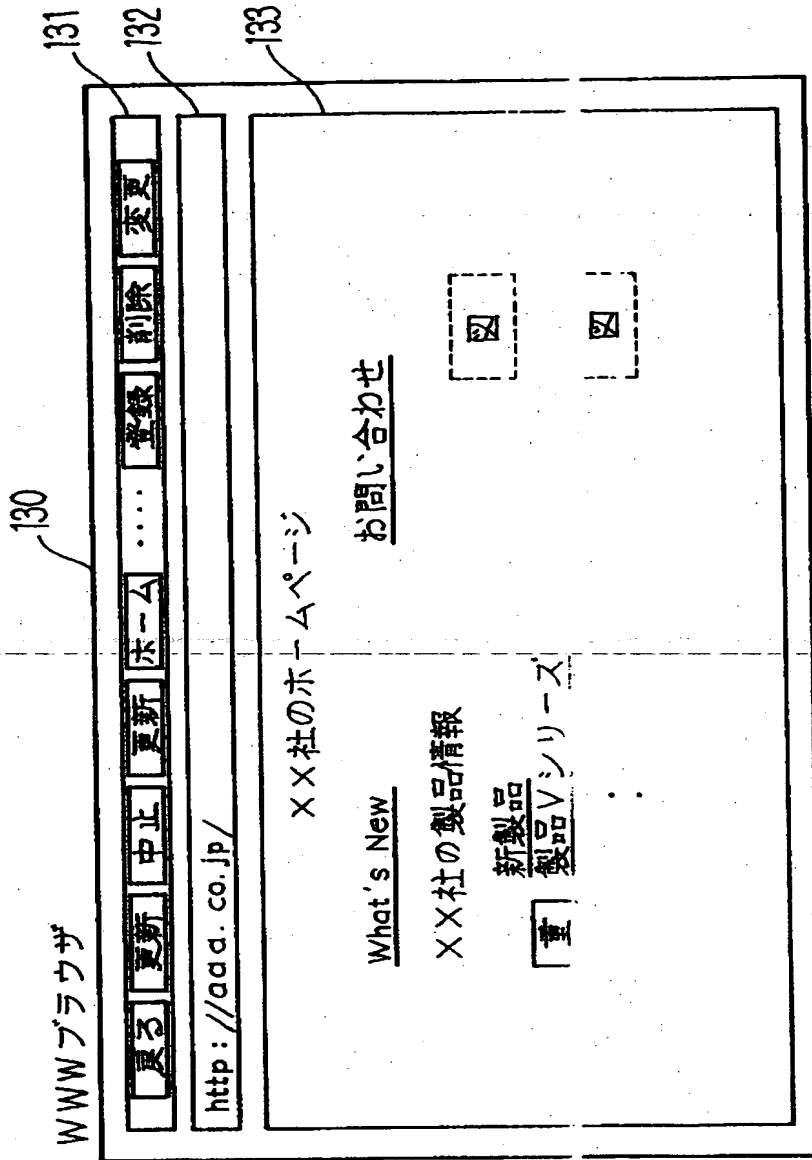
138

確定

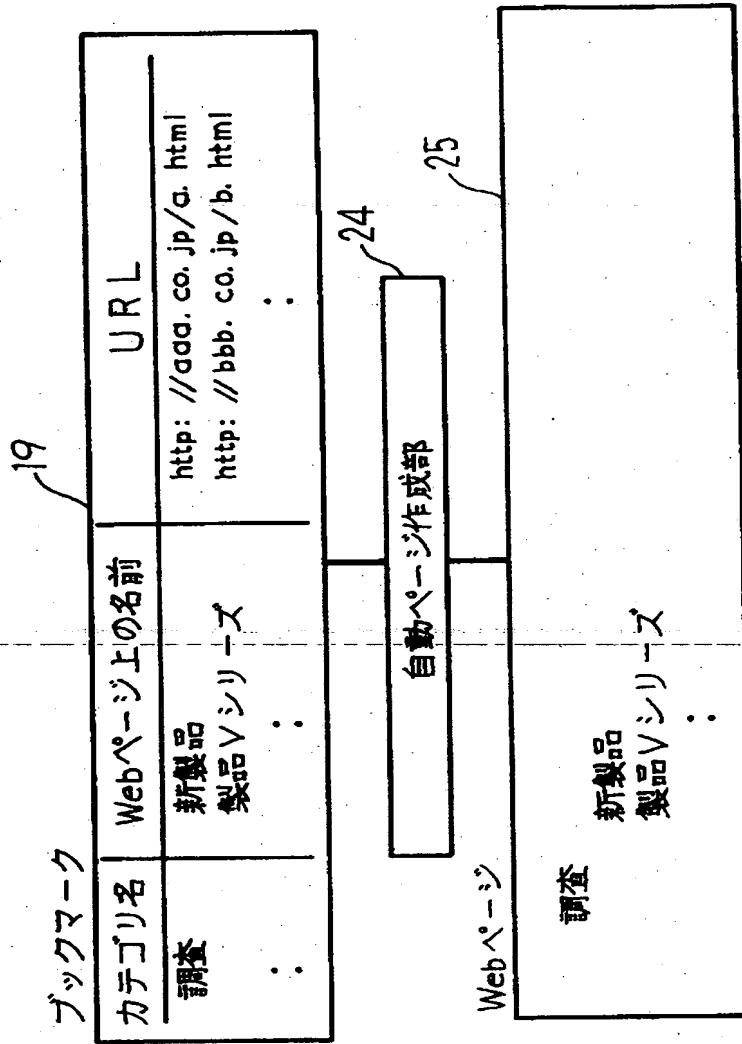
【図 7】



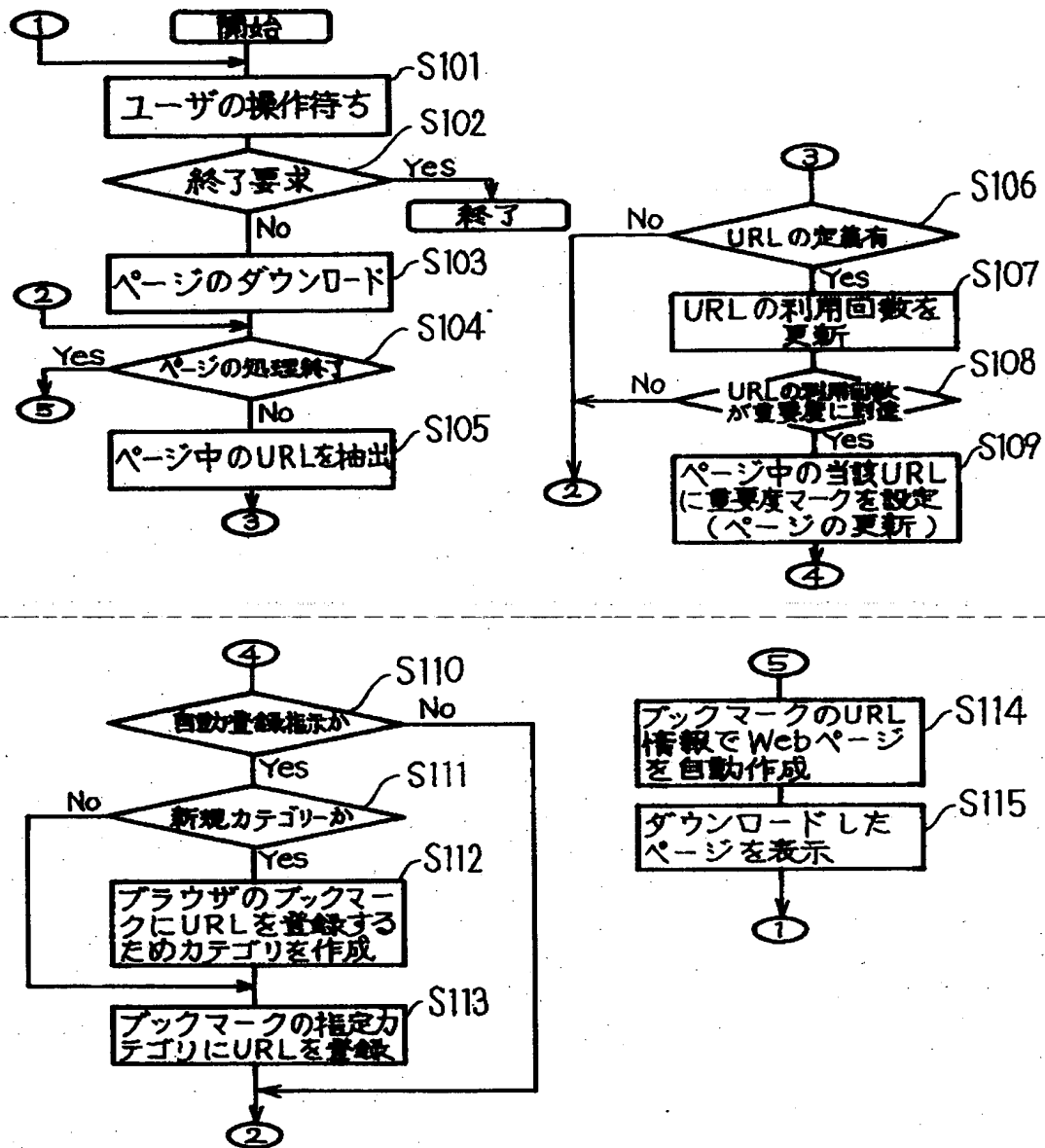
【図 8】



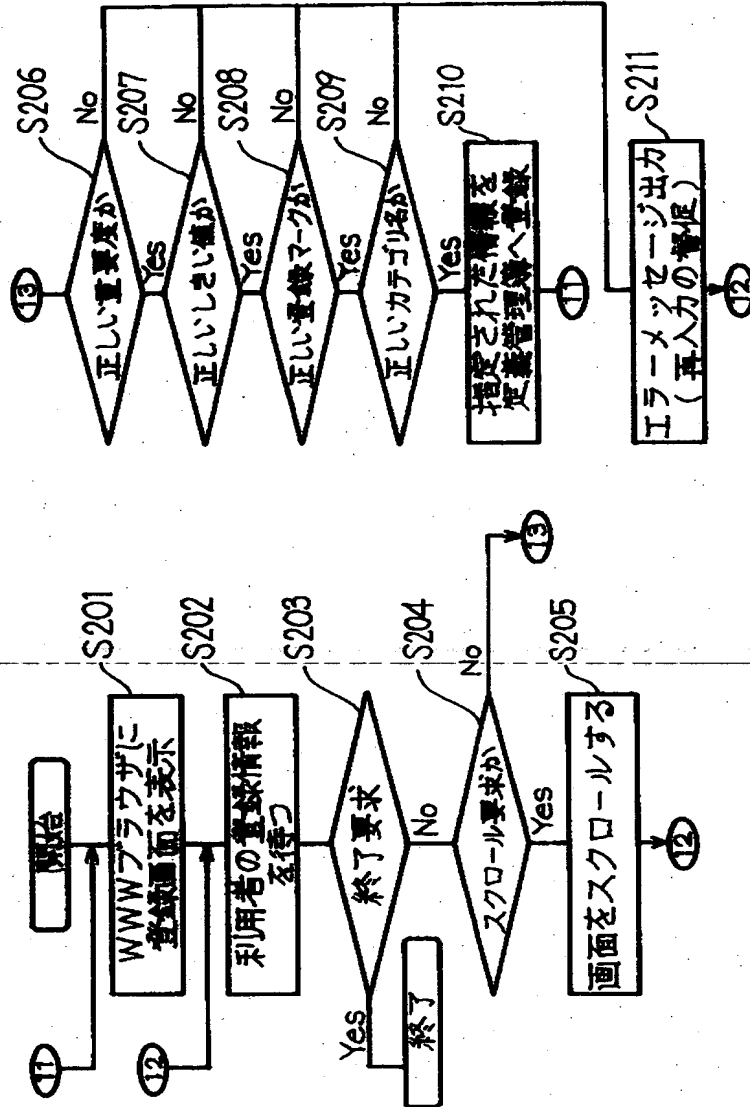
【図9】



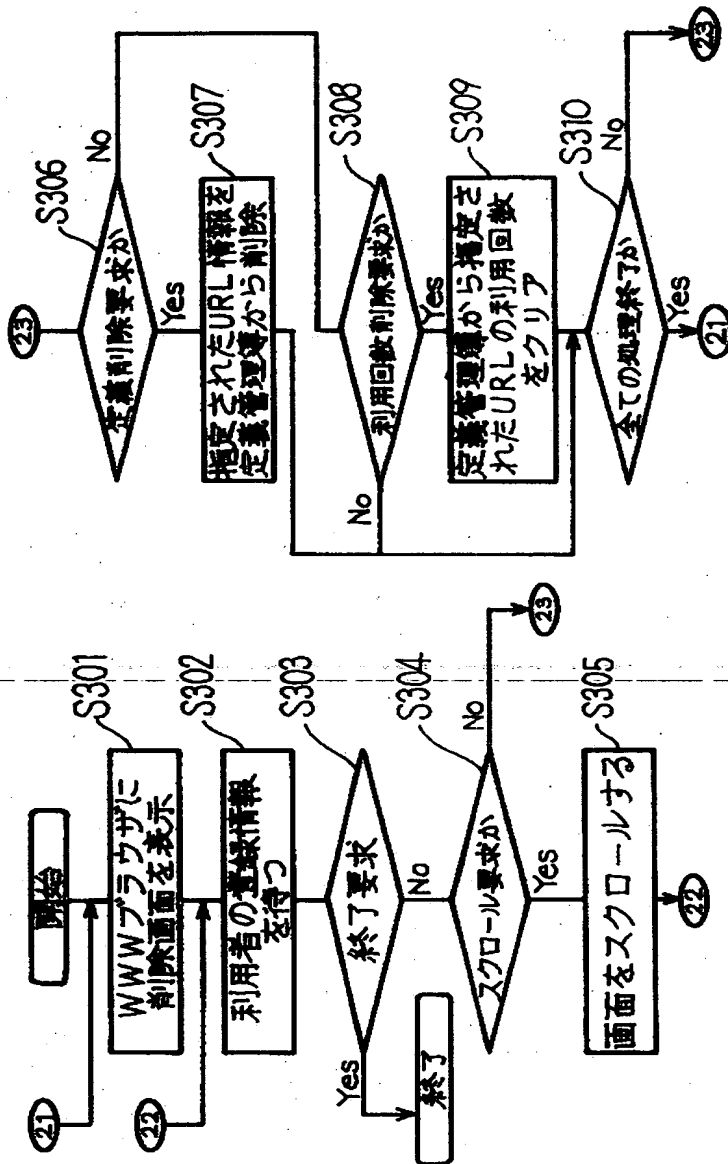
【図10】



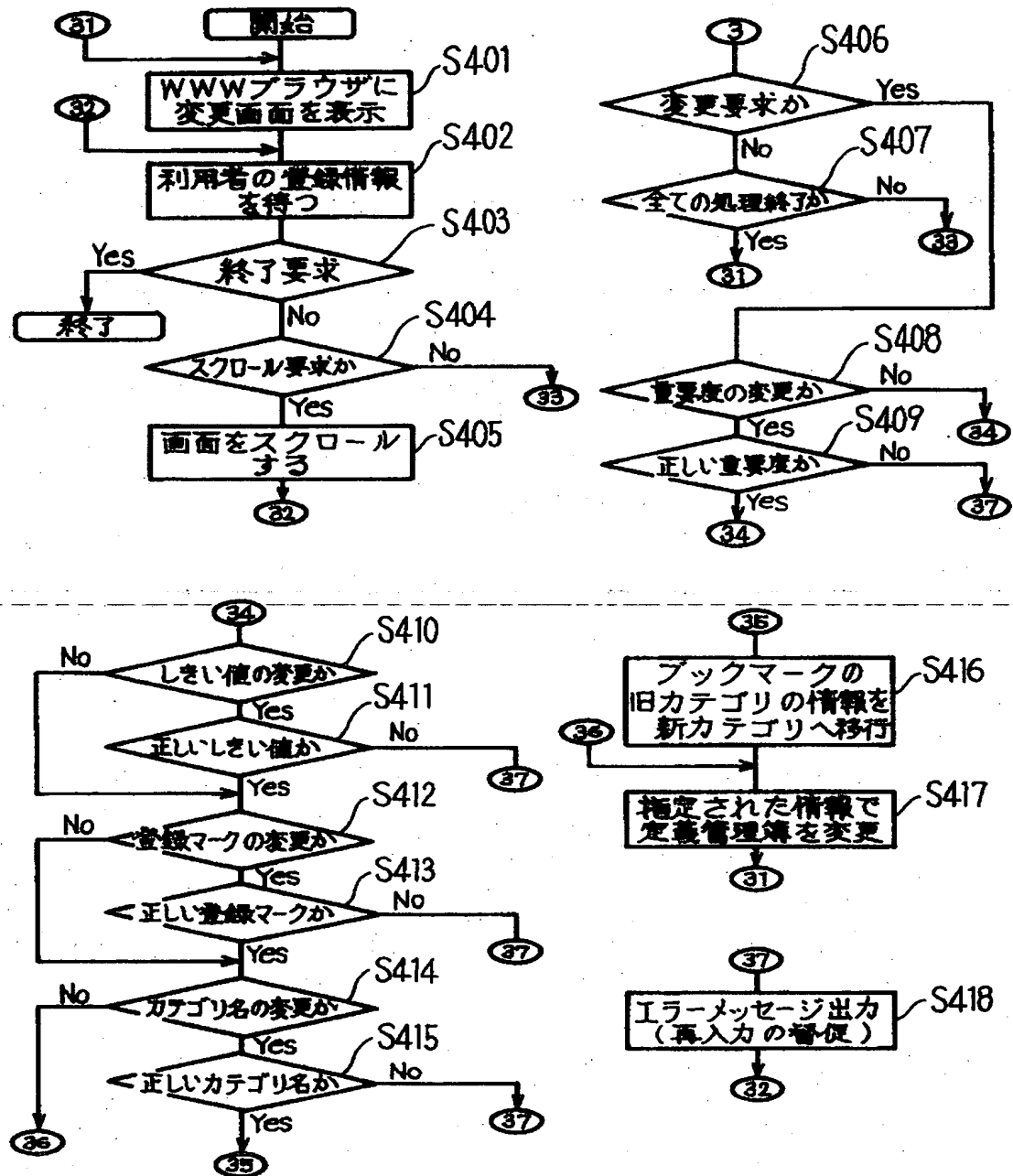
【図 11】



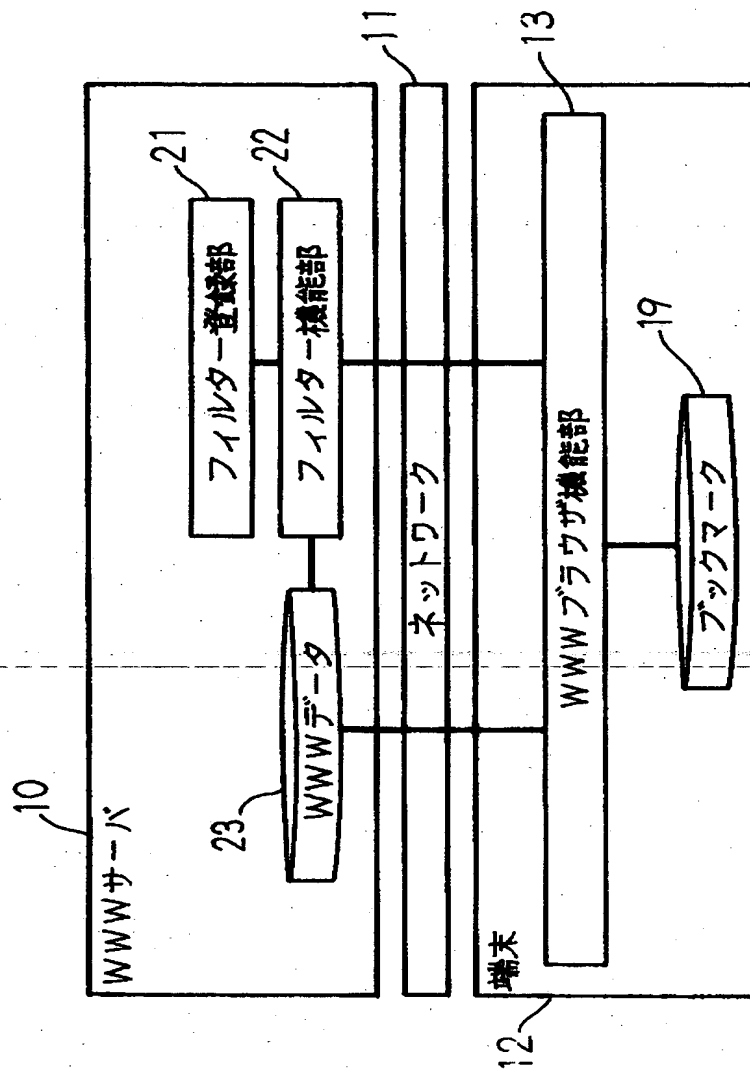
【図12】



【図13】



【図 14】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットに接続されたブラウザ機能を有する端末装置において、参照したURLのアクセス回数を計数し、アクセスされた回数に応じてブックマークに新たに登録したり、URLの種類等に応じた分類に従ってブックマークに登録したり、以後のアクセスの度に利用者の定義した処理を実行したり、アクセス回数によってブックマークを並び変えたりする。

【解決手段】 インターネットのURLを表示するブラウザに対しURL毎にその表示回数やしきい値や重要度処理を登録する機能を設け、URLを表示する毎に登録された重要度処理の要否を検査して重要度処理の実行を行ったり、しきい値の確認をしてブックマークへの登録やブックマークへの登録に際しては、指定されたグループ中にそのURLを登録したり、URLの表示回数に従ってブックマーク中の順番を変更したりする。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】
【識別番号】 000005223
【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
【氏名又は名称】 富士通株式会社
【代理人】 申請人
【識別番号】 100072590
【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富
士通株式会社内
【氏名又は名称】 井桁 貞一

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社